

火祭りの火の粉を浴びて誕生日



愛知県西尾市の鳥羽神社に約1200年前から伝えられる鳥羽の火祭りは、毎年2月の第二日曜日に開かれる。今年は運の良いことに、わたしの71歳の誕生日2月8日がその日だった。毎年誕生日には夫婦で招待してくれる吉良リンクスが火祭りをバスで案内してくれるというのだ。

前から一度体験したいと思っていた火祭りが遂に実現したのだ。鳥羽の火祭りの松明が(写真のように)こんなにも大きいとは思わなかつた。

大松明に心身を清めた「神男」が火をつけ、その中にある神木と十二縄を、古い幟で作った衣装をつけた奉仕者たちが競って取り出し、どちらの「すずみ」から早く取り出されるかによってその年の豊凶を占うという。



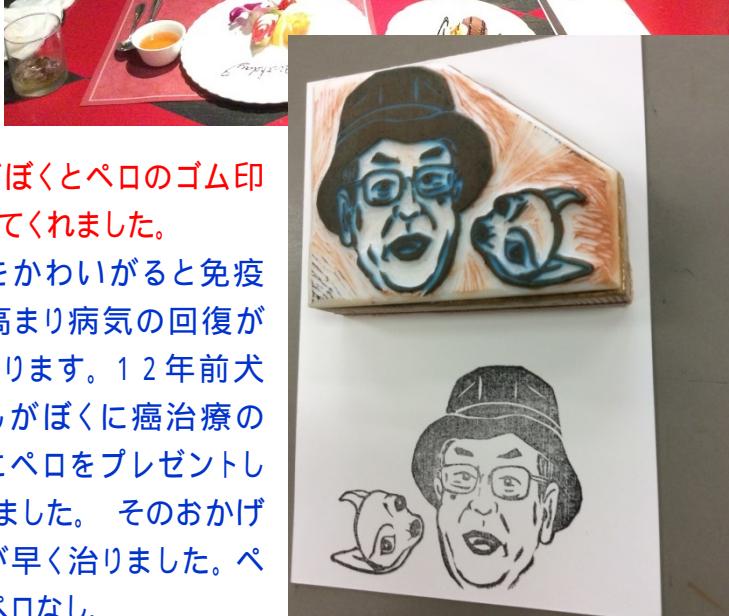
余命54年と、勝手に宣告したぼくは、やりたいことがいっぱい。どんなことでもワクワクウキウキしながらやって行く。ひと筆世界一周旅行は勿論の事、ルーティンワークもトイレ掃除もどんなこともワクワクウキウキした気持ちでやって行く。そのような気持ちになれない時もわざとワクワクウキウキしてやって行く。そのうちに本物のワクワクウキウキした気持ちになるであろう。これぞ笑いヨガの極意である。これを71歳の誕生日を迎えるにあたっての抱負とする。



石田正美

さんがぼくとペロのゴム印を作ってくれました。

犬をかわいがると免疫力が高まり病気の回復が早くなります。12年前犬屋さんがぼくに癌治療のためにペロをプレゼントしてくれました。そのおかげで癌が早く治りました。ペ



ロはぼくの命の恩犬です。ペロなくして我なし。我無くしてペロなし。